

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



かふう

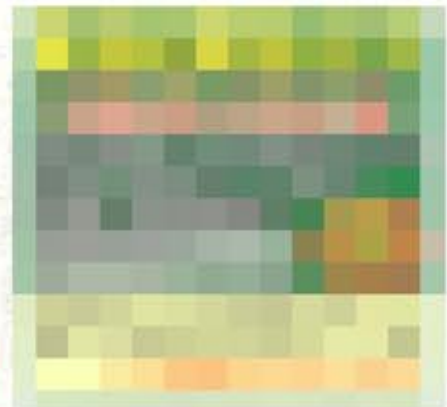
毎週金曜日発行

2014.1.17

Vol.433

<http://www.kahu.jp>

かふう 検索



新報リビングニュース



目次 こんな家に住みたい
宜野湾市 Hさん宅

空を仰ぐ高台の2階建て



- 5 ギャラリーに行こう
手作り陶房 んちゃぜーく
- 6 どうする住宅資金
マイホームの税⑥
改修工事による所得税控除
- 9 ドキュメント家づくり
「積み木の家」の調剤薬局づくり②

- 11 うちなあ点描 沖縄～アジア・トイレ紀行
ヤンゴンの有料トイレ 平川宗隆
- 12 ペット
真奈企画
ただ今、鳥生活満喫中!
- 13 ガーデン
あこがれのお庭を訪ねて

- 19 かふうひろば
お便りコーナー
おうち探しのパートナー紹介
高蔵住宅
- 20 建築資材ライブラリー
窓の種類と基礎知識
- 22 かふう週報

琉球新報
 発行/琉球新報社
 〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
 ☎098-865-5014
 企画・編集・制作/(株)正広コーポレーション
 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9
 ☎098-941-8112
 購読のお申し込み **0120-39-5069**

撮影・星比久光史 「かふう」とは、『沖縄語辞典』によれば「果報。幸運（にめぐり合うこと）」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。



こんな家に住みたい 第403回 宜野湾市 Hさん宅

空を仰ぐ高台の2階建て

高台に建つ築30年の実家の2階をリフォームして、二世帯住宅にしたHさん。さまざまな制約をクリアして、子育て真っ最中の子世帯が快適に過ごせる空間を創出しました。空を間近に感じる、明るく開放的な住まいです。

子育て世代の暮らしに合わせて実家の2階をリフォーム

Hさん一家は、築30年の実家の2階をリフォームして、両親と一つ屋根の下で暮らしをスタートさせました。「この建物は、私が小学生の頃に2階を増築して二世帯住宅になりました。当時、1階には今は亡き祖母が住んでいました」と当時の様子を説明するHさん。結婚後、いずれは実家に戻るつもりでアパート暮らしをしていたそうですが、長女の小学校入学を目前に控え「学習環境を整えてあげたい」と思い立ち、急ぎよ実家のリフォームに取り組みすることに。プランは、Hさんの小中学校の同級生でもある建築士に依頼しました。

奥さまの一番の希望は小上がりの畳間です。「キッチン隣の隣にあれば、疲れた時にさっと腰掛けたり、子どもを昼寝させながら料理の火加減を見たりできるの



書斎

内階段を利用して設けた書斎。本棚やデスクを造り付けて、コンパクトな空間に仕事に必要な機能を収めています。FIX窓を開閉式の窓に変えて両側から取り込んだ風が室内を通り抜けるようにしたほか、書斎と階段の床は格子状の建材などを組み合わせて階下にも光が届くようにしました



リビング

白を基調にしたシンプルな空間に生まれ変わったLDK。Hさん夫妻がインターネットショップから取り寄せたペンダントライトや壁に飾ったイラストなど、ナチュラル系のインテリアに心が和みます。キッチンを中心とした回遊動線となっているので、ほかの部屋へのアクセスに便利。料理をしながら子どもたちに目配りがしやすくなっています。さらに、LDKと子ども室を隔てた壁や扉の上部を開けて、透明ガラスの欄間にする事で空間に連続性を持たせ、子どもたちの気配がLDKに伝わるようになっています



時間を有効に使える造りにこだわり、家族の交流を育む

部屋ごとに細かく仕切られていた5LDKは、明るく風通しの良い3LDKへと生まれ変わりました。外階段の近くに移動した玄関の扉を開けると、正面の壁には学校から帰宅した子どもたちの様子を伺うための小さな窓があります。「キッチンにいても窓越しに顔を合わせられるので、「おかえり」と声を掛けています」と奥さまは言います。

納備した同じタイプの部屋を2つ。その隣にあるLDKは、南側のデッキテラスに面した開口部を広げて外部との連続感を演出し、家族憩いの場にぴったりな明るく開放的な空間をつくりました。さらにキッチンには、奥さまが熱望していた小上がりの畳間をつくり、パソコン作業に便利な座卓や畳下収納を設置。おかげで仕事や子育てに忙しい奥さまは大助かりです。

3畳ほど増築して設けた大容量の玄関収納。戸を開けた時に壁と一体に見えるよう、すっきりした仕上げが施されています

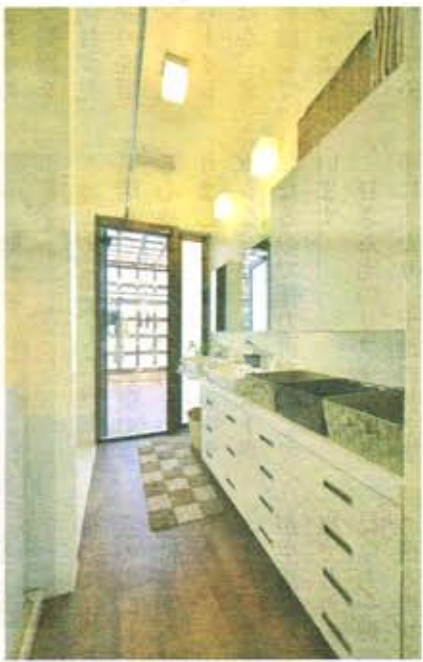
Hさんの書斎は、内階段の吹き抜け部分を利用して確保しました。1階の親世帯の室内が暗くならないよう、新設した階段は格子状の床材を採用。さらに、FIX窓を開閉式の窓に変えて、風の通り道をつくりました。「実家に戻って1年余りになりますが、LDKのエアコンを一度も使うことがない上、日中は自然光だけで過ごせます」とHさん。デッキテラスに出ると、どこまでも続く街の景色と青い空。空の表情を眺めながら過ごすと、毎日の暮らしに輝きを与えてくれます。Hさん宅は、光と家族の温もりに満ちた住まいです。



所在地: 宜野湾市
家族構成: 2階子世帯 夫婦、子ども2人
 1階親世帯 両親
設計: 一級建築士事務所simple
 担当: 赤嶺しげたか、上間 美智代
延床面積: 98.35㎡ (29.75坪)
完成時期: 2012年8月

- 建築 / (株) 謝花組 (担当: 横田敏樹、長嶺直樹)
- 電気 / (有) 新栄電機
- 水道 / 石橋工業(株)
- キッチン / (有) CASA (担当: 石川さかえ)

BEFORE写真提供・一級建築士事務所simple



右 / 奥に見える洗濯干し場から取り込んだ衣類をさっと収められるよう、洗面脱衣室に引き出し収納を造り付けています
 左 / トイレ。手洗い器までの床はフローリングなので、手を洗うだけならスリッパを履き替える必要はありません。一方、便器周りは水洗いができるようタイル床に。小便器は外を眺めながら用が足せる位置にこだわりました



デッキテラス

子どもたちの格好の遊び場となるデッキテラス。美観に一役買っている花ブロックの手すりは「家族分の布団が干せるのでうれしい」と重宝している様子。左手に見えるウッドデッキの敷かれていないスペースはバーベキューコーナーです。ここも「段差がいたずらになり、掃除もしやすく便利」と使い勝手は上々



空を仰ぐ高台の2階建て

右／玄関ホール。正面の壁の向こう側はキッチンです。ロフトにミニキッチン用の小窓がアクセントになっています。
左／長女の学習机はHさんのおさがり。親子二代でひとつの学習机を大切に使っています。左手に見えるはしごを使ってロフトへ。下部分は収納スペースです。



寝室のベッドサイドには、照明とボックス棚を左右対称に設置。それぞれのペースで就寝前の読書タイムが楽しめます



造り付け家具で暮らしをより豊かに

家づくしポイント

ベッドサイドの両側の壁に、本や目覚まし時計などを手近に置けるボックス棚を造り付けました。それぞれにコンセントがあるので、携帯電話の充電などにも重宝しています。また玄関には、季節に合わせたディスプレイが楽しめるベンチ式の収納家具、LDKには家族写真や雑貨が飾れるニッチや大容量の本棚があります。このように、用途や空間の雰囲気に合わせた造り付けの家具はとても使いやすく、暮らしをより快適なものにしています。

■一級建築士事務所simple
うるま市塩屋510-1 #105 ☎098-974-2500
http://simple2525.com

暮らしやすい動線を突き詰めて間取りを考案する

1階に暮らす両親に配慮しながら工事を進める — 建築士・赤嶺しげたかさん談

計画前のHさん宅は、天井裏や床下の空間が大きく取られていたせいで、天井高が低く全体的に薄暗くなっていました。また、玄関に大きな段差が生じて室内への出入りが不便だったほか、北側にある階段室の開口部がFIX窓だったため、十分な通風も得られていませんでした。

施主の要望は、室内からのアクセスが悪いために、ほとんど使われずにいた南側のデッキテラスの有効活用と、暮らしやすい間取りに一新したいというもの。それらを実現させるためには、建築基準法に係る構造上の制約をクリアしながら、限られたスペースの中でどうやって動線を整理するかポイントになりました。鉄筋コンクリート造の建

物の劣化状況を確認し、コンクリートがひび割れていた部分を補修して外壁を全面塗装。門扉から外階段につながる子世帯専用のアプローチを設けました。内部に関しては、打ち合わせの中でプライベートな動線を優先するという方向性が見えてきたので、既設の洗面脱衣室とトイレの位置を入れ替えて、寝室からトイレに行きやすくしたほか、北側に洗濯干し場を新設して、洗濯物が目に触れないようにしました。

玄関の位置を移動して外階段から玄関までの距離を縮め、3畳ほど増築して大容量の玄関収納を新設。LDKと寝室の開口部を掃き出し窓にして、室内からデッキテラスへ直接行き来できるようにしたり、ウッド



キッチンの隣に配置した畳間は多目的に使える便利なスペース。畳下は全面収納となっています

デッキを敷設したりして、見晴らしの良さを満喫できる心地よい屋外空間をつくりました。なお、アルミサッシを交換するとコスト高になるので極力再利用しています。

Hさん宅のリフォーム工事に当たり、土地の神さまを祀って工事の無事を祈る起工式を執り行いました。リフォーム工事で起工式を行うケースは少ないのですが、施主、設計者、工事関係者が気持ちをつなげて、最後までモチベーションを

保って工事をやり遂げる決意の場にしたと思います。施主に提案させていただきました。

また、今回は1階で両親が生活をしている中で、工事でしたので、工事関係者に協力を仰いで、大きな音の出る機材を使用する際は、前もって両親に連絡を入れてもらうなど細心の注意を払いました。段取り良く工事が進んだおかげで、3世代が伸び伸び暮らせる住環境が作り出せたと思います。

